

11月11日(土)に「ガンの飛立ち観察会&コクガンの観察会」を開催しました。

Vol.162

令和5年度12月号

## 伊豆沼・内沼自然体験講座を開催

今年度もマガンとコクガンを観察する体験講座がスタートしました。早朝の伊豆沼でマガンの飛立ちを観察した後、サンクチュアリセンターに戻り、記念撮影後、地元の食材を使った暖かい朝食をいただきます。休憩後は志津川湾までバスで移動し、コクガンを観察する内容で、令和6年1月までに4回実施します。



飛立ち前のマガン



おいしい豚汁に舌鼓。体も温まりました。



南三陸町志津川湾でコクガン観察会

## 豊田合成東日本(株)様、トヨタ自動車東日本(株)様によるCSR活動

豊田合成東日本(株)様とトヨタ自動車東日本(株)様によるCSR(社会貢献)活動が、それぞれ10月22日と11月18日に行われました。

10月22日の作業では、水生植物園内の池に繁茂しているマコモやヨシの掘り取り・刈り取りを、11月18日の作業では、水生植物園内の池を護岸するための板柵を打ち込みました。これらの活動に延べ70名の方々に参加いただきました。晴天の中、ありがとうございました。

今回整備を行った池には、今後、伊豆沼在来水生植物を植栽するなど、来園者に楽しんでいただけるよう整備を進めます。



豊田合成東日本(株)様作業風景



トヨタ自動車東日本(株)様作業風景





4年生

登米市立新田小学校では、学年ごとにテーマを決めて、伊豆沼・内沼の勉強をしています。

4年生は渡り鳥がテーマで、野外でガンカモ類の観察をしますが、当日は雨天だったため、センターで話を聞いたり、ハクチョウやトビの羽毛を使って、羽ばたきでどのくらいの力が生まれるのか体感しました。



5年生

5年生は、沼での植栽活動に取り組んでいます。今年は、胴長を着て、水辺に一步入って、「フトイ」という水生植物を植栽しました。「フトイ」などの水辺の植物を増やし、トンボや魚の生息場を守る取り組みです。子どもたちが「わあ」と喜ぶような水辺が再生するように、活動を進めていきます。

## 石巻専修大学生の野外実習

当財団では、環境教育活動の一環で、大学の野外実習も受け入れています。

11月4日伊豆沼で石巻専修大の学生が定置網での調査を行いました。魚種別に捕獲数を記録し、外来魚の影響などをレポートにまとめるそうです。中には、魚に詳しい学生さんもいて、レポートの完成が楽しみな日となりました。



## 平筒沼での環境学習（出前講座）を行いました



11月7日登米市米山町の平筒沼において地元の小学生を対象とした環境学習会が行われました。学習会では、当財団の職員が平筒沼に住む生き物の解説や、伊豆沼・内沼の保全活動の説明と魚やエビの観察会が行われました。

平筒沼周辺は、昨年7月の大雨による洪水被害を受けましたが、観察会当日の平筒沼では、マツモやタヌキモなどの水草が水面を漂い、ハスが群生するなど、豊かな水生植物群落は健在なようで安心しました。

様々な生き物が生息する平筒沼を通して、参加した小学生が、生き物に興味を持ち、環境保全活動に関心を持ってくれることを願っています。

## 【お願い】高病原性鳥インフルエンザへの対応について

野鳥等から高病原性鳥インフルエンザが検出され、伊豆沼・内沼が野鳥重点監視区域（10Km圏内）に含まれた場合は、当財団での餌付けを自粛します。来館者の皆さんには、靴の消毒にご協力のほど、お願いいたします。

